

NPO 自立支援センター ふるさとの会

2007.06.20
【第6号】



これはHTML形式のMAILです。オンラインで無い場合は画像が表示されない可能性があります。

HOME PAGE

SCHEDULE

EVENTs

※ふるさとの会のメールマガジンをご愛読いただき、誠にありがとうございます。
今後もふるさとの会の活動内容を定期的に情報発信させていただきたいと存じます。
ご不要の場合はお手数ですがご返信くださいますようお願いいたします。

INDEX

- ① NPO法人自立支援センターふるさとの会 総会報告
- ② 敬老室特別行事『寄席』
- ③ 職員研修 墨田区保健福祉部保護課レクチャー
- ④ シリーズ事業所探訪 その6あさひ館
- ⑤ 職員研修 信愛病院 井上MSW講演
- ⑥ ホームレス支援全国ネット設立総会 報告
- ⑦ 経済同友会主催 NPOメッセに参加しました
- ⑧ 今月のボランティア募集

1. NPO法人 自立支援センターふるさとの会 2007年度総会開催

2007年度通常総会が5月20日の日曜日に行われました。浅草周辺では晴天にも恵まれ、三社祭が盛大に行われていました。議長は昨年に続き、藤井恒昭さんが選出され、会員数17名の内、11名の出席、委任状6票で総会が成立、開会されました。

今年の総会はNPO研修をかねて、ふるさとの会職員がオブザーバー参加致しました。経営情報の公開＝職員ひとりひとりが現在の経営情報を知る事は、社会資源の有効活用やミッションの実行を考える上で、より有効な情報のひとつとなり、結局はNPOふるさとの会の発展につながると水田理事長より意義説明がありました。

今年も監事を務めてくださった中島先生より監査の結果が適正であるとの報告をしていただき、佐久間事務局長より平成18年度の事業報告と収支決算報告についての説明がありました。財務状況については、ふるさとの会の顧問会計士である内藤税理士により経営状態良好との意見をいただきました。続いて平成19年度の事業計画と収支予算の説明がありました。

水田理事長は次年度の事業説明の中で、現在の社会動向を鑑みると、03年度から少しずつ景気が回復し、都心の地価上昇には一部『ミニバブル』という兆候が見られると言われているが、その対極である『ワーキングプア』の増加が社会問題化している(その世代を親に持つ子供たちにも影響がでている、足立区では二人に一人が就学援助を受けるという事実が報じられた)。さらにフリーター・ニート・ネットカフェ難民など新たな『貧困』層の問題にも支援の対象を拡大し、新たな事業展開の必要性を強調しました。その後、理事5名がスピーチを行い、総会は終了致しました。

総会終了後、慰労会が行われました。普段の業務を離れ、会員と職員が歓談を楽しみ、給食センターによるおいしい料理に舌鼓を打ち、今後の仕事への活力になりました。

(羽鳥竜生)



NPO総会後の慰労会。給食センターの料理に癒されたひと時

2. 敬老室特別行事『寄席』報告

NPO法人ふるさとの会では、城北福祉・労働センター分室である敬老室の運営を受託しており、毎週日曜日は『ボランティアサークルふるさとの会』による昼食提供を行っています。その中で、月に一回、第3日曜日に特別行事として、お楽しみ行事を行っており、これまでに「カラオケ大会」「折り紙教室」「句会」「お出かけプログラム」等を開催してきました。

5月の敬老室特別行事のプログラムは、「寄席」!

御題は…

ぱん亭翔武「小金持ち」

俺亭面濃異「火焰太鼓」

埼玉大学落語研究会の皆さんの協力によって、敬老室の和室で即席寄席が開かれました。

正味1時間ほどの寄席ではありましたが、利用者へ感想を聞いたところ、普段あまり表情を変えない方が黙ったまま、ウンウンと頷きながらニヤニヤと笑顔で帰っていきました。

ぱん亭師匠、俺亭師匠のお二人に話を聞くと、ボランティアでどこの老人ホームへ行っても、女性に比べて男性の反応はキビシイとのこと。ただ敬老室を利用する山谷のおじさんと同様に固い表情が崩れ、さらには落語についての蘊蓄を語る御仁が必ずいるらしい。

埼玉大落研は関東落語連合に所属しており、毎年一度、落研の甲子園ともいうべき全国大会に出場していて、なんでも寄席のボランティアを依頼すると近所に住んでいる落語連合メンバーをコーディネートして、寄席を開いてくれるとのことなので、今後も敬老室のみならず他の宿泊所などのプログラムで寄席もバリエーションに加えていきたいと思っています。

(秋山雅彦)



埼玉大落研の代々続く

3. 全体研修 墨田区福祉保健部保護課レクチャー 報告

去る5月26日のふるさとの会の全体研修では、墨田区福祉保健部保護課より石田係長をはじめ4名の方々を講師として迎えました。

福祉事務所とは、高齢者・各種障害者・母子家庭等、生活困窮者の福祉を充実させるために設けられた、区役所の中の一つの事務所です。東京の中でも、墨田区・台東区・新宿区はホームレスが多い地域として知られていますが、このような現状に対応するため、墨田区では様々な施策を設けています。

例えば、路上生活者間の感染症を減らし公衆衛生を保つため、年に1度の結核の検診。また、公園等の巡回警備も行っています。また、生活困窮者に対する生活保護の支給は、いわずと知れた福祉事務所のメインの業務です。

更に、多くの被保護世帯を抱える墨田区では、「自立支援プログラム」を設け、被保護者の経済的・日常生活・社会生活の自立の支援を試みています。中でも、現在作成中の「高校進学等支援プログラム」では、世代間の貧困連鎖を防ぐため、生活困窮世帯の子供の高校進学を支援し、学歴上昇を図り、明るい未来に繋げていく支援を目指しています。

ケースワーカーの大庭さんのお話によると、福祉事務所は地域の社会資源を活用し、地域の諸団体と連携しながら利用者に最適な支援を提供することを目標としているそうです。ふるさとの会からも、現場の声を伝える地域団体として、積極的に提言やアドバイスを行って欲しいとのことでした。

地域生活移行支援事業でアパートに入居された方の生活相談、また宿泊所に入所されている利用者さんの担当のケースワーカーさんとの連携など、ふるさとの会各事業所の業務は、福祉事務所と密接に関わっています。今回の研修では、私たちふるさとの会職員が福祉事務所の業務をよりよく知る機会になったと共に、私たちの業務内容を説明させていただくことができ、生活困窮者を支援するパートナーとしての相互を理解し、今後よりよい連携をしていく良い機会になったと思います。

(岡野貴子)



墨田区福祉事務所・大庭ケースワーカー



「現場の声」が飛び交った討論会の様子

4. シリーズ事業所探訪 その9 ふるさとあさひ館

今回は、先月号の『利用者さんの声』で紹介させていただいた庄司さんが働いている、あさひ館に行ってきました。夕食時のあさひ館は、配膳の方が各利用者さんのお盆の上にご飯やおかずのお皿を並べてゆきます。利用者のみなさんは着席済みで、TVを見ながら待たれていました。時には利用者さんが自主的に配膳のお手伝いをしてくださるという事です。また、壁面には利用者さん作成の花が飾られていました。

あさひ館は、2001年に介護を必要とする方々も安心して受け入れ、応援できるように設立した施設です。定員は1、2階あわせて26名。現在は満床状態で、1階は準バリアフリー空間で段差にはスロープ、通路や利用者さんの手の届く所には手すりが備え付けられています。体の不自由な利用者さんの部屋にはポータブルトイレなどが用意されています。もちろん職員は常に目配り、気配り、心配りを怠らない様に心がけています。ちなみに現在は館内に限り、車椅子を使われている利用者さんはいません。

原則2人部屋ですが、各利用者さんの状況に応じていますので、1人部屋をの方もいます。以前はこのあさひ館、旅館として利用されていたという事で、かつての間取りを活かした館内での生活は、古き良き大家族のようで、皆が助け合って日々生活しているように見受けられました。

あさひ館職員に話を聞きました。

「1ヶ月前に城北労働・福祉センター職員より一本の電話がありました。話の内容は山谷で長らく路上生活を余儀なくされていた高齢の方の受け入れ要請でした。通常は福祉事務所からの要請が大半ですが、センター、福祉事務所と連携し、程なくして入所されました。入所当初は長年の路上生活からくるダメージが大きかったのですが、一ヶ月を過ぎた現在は次第に回復の兆しが見え、ひとまず安心です。今後も今回のケースの様に、この山谷地域と連携、サポートしてゆきたいです。」

様々な過去や背景を持つ利用者さんがひとつ屋根の下で暮らしているの、時にはトラブルも起こります、しかし、試行錯誤しながら、ゆっくりあせらず、時間をかけて利用者さんと向き合ってゆく。その様な在り方に主眼を置いて、日々の業務に励んでいるという職員の話を聞いて、利用者さんの人生、生活に密着した、24時間サポートの宿泊所だからこそできる取り組みだと改めて感じました。

(羽鳥竜生)



食事風景。家族の食卓のような雰囲気



午後のひと時

5. 職員研修 信愛病院 井上MSW講演

4月の職員研修として、去る4月21日、信愛病院医療相談室の井上孝義氏を講師としてお招きしました。井上氏は東京都社会福祉協議会に加盟する無料低額診療事業施設のMSW部会で取りまとめ役をされており、ふるさとの会が平成16年度に地域生活移行支援事業を受託した時からご協力をいただいています。

今回は「医療・介護を取り巻く現状について」をテーマにご講演をお願いしました。

ふるさとの会が支援している方々の中には、移行支援事業参加者のように、生活保護は受けていないが医療支援を必要としている方が数多くいらっしゃいます。そういう方々のために、MSW部会と地域生活支援センターとが連携し、毎月医療相談会を開催しています。

今回の講演の中では、低所得者が入院した際には食事代の減額が設けられていること、保険外負担は病院ごとに異なるということ、国民健康保険と健康保険の対象者に対し、限度額認定申請制度(入院が必要となった際に役所へ申請し、あらかじめ限度額を認定する制度)など具体的な制度について、支援をしていく上で持つべき知識を多く学ぶことができました。

また、医療保険・介護保険の制度的な開設を中心に、病院の種類(一般病棟・療養病床など)や介護保険施設(特養・老健など)の現状などにも言及されました。介護療養病床の全廃や診療報酬の改定により、医療現場はいま、「社会的入院」さえもできない状況に変化しています。ふるさとの会では、このように帰来先がなく転院を繰り返すような方が、再び地域の中で安心して暮らせるよう、宿泊所や自立援助ホームなどの住居保障をしてきましたが、入所調整ではMSWが退院後のことまで配慮して入所後の医療や生活について積極的に関わってくださることもあり、逆に、利用者が入院したときなどは、病状や退院後の医療や生活についてMSWと緊密な連絡が欠かせません。

このように考えていくと、MSWは医療の側から生活の領域に、NPOの職員は生活の場から医療の領域に、一歩ずつ踏みだし、フォローしあい、「安心して暮らす場がない」というようなことにならないよう、「セーフティネットのセーフティネット」を双方から張っているのだと言うこともできます。

今回の講義を宿泊所の施設職員として聴き、利用者様が健康で安心して過ごせるよう、医療機関の方々とコミュニケーションをしっかりとっていく必要性を再確認し、また医療機関との連携を更に深め、社会的入院という大きな課題を持っている方々が再び地域で生活を送ることができるように支援を円滑に行っていく努力をしていかなければ、と感じました。

た。
(野中智恵&瀧脇 憲)



これからいよいよ重要になってくる医療関係者との連携

♪一口MEMO 東京都社会福祉協議会医療部会とは？♪

東京都社会福祉協議会医療部会は、生計困難者のために、無料又は低額な料金で診療を行う(「無料低額診療事業」という)病院と無料又は低額な費用で利用する老人保健施設で構成されている。

近年は、福祉医療の対象となる外国人の増加や大きな社会問題化しているホームレスの問題に積極的な対応を行うことが求められている。

6. 「ホームレス支援全国ネットワーク」設立総会

6月9日、墨田区生涯学習センターで「ホームレス支援全国ネットワーク」設立総会が開催されました。総会司会を新宿ホームレス支援機構の安江さんが、討論会の司会をふるさとの会の小林が務めさせていただきました。

発起団体として、NPO法人北九州ホームレス支援機構、NPO法人釜ヶ崎支援機構、NPO法人新宿ホームレス支援機構、そしてNPO法人自立支援センターふるさとの会の4団体を中心となり話し合いを重ねてきました。今後の日本社会におけるホームレス支援のあり方を模索し・立案し・提言し・実行していこうという目標のもと、今回、晴れて第一回総会を開催することができました。

上に挙げた発起団体以外にも、日本全国、遠方では新潟や九州から様々なホームレス支援団体・個人の皆様が参加されました。「全国ネット」の代表としては、北九州ホームレス支援機構・理事長の奥田知志さんが就任されました。

2002年に10年間の時限立法として公布された「ホームレスの自立支援等に関する特別措置法(ホームレス自立支援法)」も、今年で中間年を迎えました。政府は、9月以降から基本方針の見直しを始めることを明らかにしています。それに伴い、今回の総会の直近の課題は、全国から現場の声を持ち寄り、今後のホームレス支援のあり方を模索・検討し、今後の国のなすべき施策について提言を立案するということでした。

厚生労働省がおこなったホームレスの実態調査によると、ここ数年でホームレスの数は大幅な減少の方向にあります。しかし、ひとえにホームレスと言っても、各地域によって様々な特性があります。例えば、東京・大阪・名古屋等、「ホームレス自立支援法」によって設立された緊急一時保護センター等の施設が完備されている大都市では、ホームレスの数はここ数年で激減しているようです。しかし、その他の地方都市ではあまり著しい減少は見られていません。

今回の総会で、大阪・京都・新潟・九州、そして東京等、全国各地の支援団体・個人からの生の声を聞くことができ、各地の地域事情・活動内容は多種多様であるということを学びました。ホームレスの実態の真の姿を把握し、それに伴った適切な支援を行っていくために、私たちNPO等の「現場の声」は本当に大事であり、今回全国各地の現場の声が集結したのは、今後のホームレス支援の更なる質の向上において、非常に意義あることであつたと思います。

(岡野貴子)

「全国ネット」に興味を持たれた方は、下記連絡先までお問い合わせ下さい！

連絡先: ホームレス支援全国ネットワーク事務局
TEL&FAX: 03-5155-2705 担当: 安江
E-mail: YHY07064@nifty.com



ホームレス支援全国ネットワーク設立総会



日本各地の団体・個人からの活動報告

7. 経済同友会主催 NPOメッセ 参加報告

5月22日、帝国ホテルにて経済同友会主催のシンポジウム「企業とNPO: 社会変革(ソーシャル・イノベーション)への挑戦」及び「NPOの見本市(メッセ)」に参加してきました。ご案内によると、開催目的は、

① 企業経営者とNPO関係者が一同に会し、全地球的課題や社会的課題への解決策定時、すなわち、社会変革(ソーシャル・イノベーション)に向けた、企業とNPOとの協力・連携の可能性について、前向きで建設的な議論を行う

② シンポジウム開催と同時に、本会初の試みとして『NPO活動見本市(メッセ)』を実施し、企業経営者とNPO関係者との、「コミュニケーション」と「ネットワーク構築」の場を提供するとあります。

シンポジウムには経済界とNPOから約300名が参加、経済同友会2006年度NPO・社会起業委員会委員長の大橋洋司氏(全日空運輸取締役会長)の挨拶にはじまり、「イノベーションを支える経営感覚とは」、「企業のリソースをどう引き出すか」などの論点をめぐりパネルディスカッションが行われました。中でも、洪澤健氏(シブサワ・アンド・カンパニー代表取締役)によるヘッジファンドの社会貢献活動というコンセプトや、アサザ基金代表・飯島博氏の「霞ヶ浦の再生事業は価値の創造をやっているのだ」という主張は切れ味鋭く、(共感を込めて)はたと膝を叩くものがありました。

一方メッセ(見本市)にはNPO約45団体が出店。活動領域は国際協力NGO、自然保護、引きこもり、依存症など多岐に渡り、ホームレス関係では「ビッグイシュー」と「ふるさとの会」の2団体が参加しました。

さまざまなNPOと交流しながら、共通しているのは「資金調達」の悩みです。ふるさとの会もホームレス問題を解決する「ビジネスモデル」を提示しながら、それを実現するための新たな資金調達のあり方はこれから模索してゆかねばならず、今回のシンポ&メッセ参加でその思いがいつそう強くなりました。

ご案内を下さり、パネラーの洪澤さんを紹介してくださるなどご配慮くださったパブリックリソースセンターの岸本さん、田島さん、ありがとうございました。

(瀧脇 憲)



メッセ会場での自立支援センターふるさとの会ブース

8. 今月のボランティア募集 第31回山谷夏祭りのお知らせ

先日、ボランティアサークル世話人会を開き、今年の山谷夏祭りを8月18日(土)19日(日)両日の開催に決定致しました。(公園申請の都合で変更になる場合も…)

玉姫公園において、例年通り高野山東京別院から僧侶においでいただいて追悼法要を執り行うとともに、炊き出しや屋台、ステージイベントなど、地域の方々と一緒に楽しめるような祭りをつくりたいと考えております。

プログラムの詳細については、来月のメルマガでお知らせできればと思います。お楽しみに！

山谷夏祭りは、ボランティアサークルふるさとの会が中心となり、NPO法人ふるさとの会はじめ、山谷で活動する各NPO団体、CSR企業や多くのボランティアの皆様を支えられて毎年開催しております。この山谷夏祭りが長年にわたり開催できるのは、ひとえに皆様の御協力の賜物と心から感謝しております。本年も引き続き皆様からの御支援いただけますよう、心よりお願い申し上げます。

ご寄付・御参加のお願い

ボランティア参加、財政支援、米や調味料のカンパなど、大募集しております。ボランティア活動には、夏祭り当日だけではなく、1週間前に行なわれるアウトリーチ活動や前日の準備などがあります。ご参加いただけるようでしたらお気軽にお問合せ下さい。

ボランティアサークルふるさとの会 担当:秋山/馬場

TEL&FAX:03-3801-0881

E-MAIL:volunteer-circle@lime.ocn.ne.jp

ご寄付振込み先: 郵便振替口座 00260-5-63218 ふるさとの会



発行元: 特定非営利活動法人 自立支援センターふるさとの会
〒111-0031東京都台東区千束4-39-6
TEL:03-3876-8150 FAX:03-3876-7950
hurusato@d5.dion.ne.jp
HP : <http://www.d5.dion.ne.jp/~hurusato/>